

かい じん けん こう えん かい  
だい  
第37回人権講演会から

こうし 海老名 香葉子さん (エッセイスト)

やす は 泰葉さん (シンガーソングライター)



2015年 8月17日(月)

於/小山市立文化センター

せん ご ななじゅうねん よ へい わ うた  
“戦後七十年に寄せて 平和の歌”

お陰様で私はもう一か月で82歳です。上野の山に慰霊碑を建てました。「時忘れじの塔」というのは平和の母子像でございまして、憩いの広場に今建ってます。とってもかわいいんですよ。昭和19年、私は集団疎開でなく、縁故疎開しました。沼津のおじの所に行きました。3月9日の夜、「退避!」という声で山に登って行きました。真夜中、凍てつく寒空の下。私は正座して、「どうか。みんなが無事でいられますように。」と小5の私は必死に拝みました。「東京の空が赤いぞ。」翌る日学校へ行ったら友達に、「本所深川は全滅だってよ。」って言われたんです。4日目、すぐ上の兄がポロポロに焼け爛れて立っていました。「ちい兄ちゃんでしょ。」と言ったら、「香葉子、みんな死んじゃったよ。」と兄はポロポロ泣きました。「僕だけ助かっちゃったんだ。ごめんね、ごめんね。」と何度も泣きました。春先になって、親の骨の行方を捜しました。死亡者名簿を探したけれど、真っ黒こげになった人達は載るはずはありません。親が行方不明の子どもは戦災孤児ではないのでパン一つもらえませんでした。去年、ある日起き上がろうとしたとき起き上がれなくて、でもその時母の声が聞こえ、手をひっぱ張ってくれた。夢中で、「母ちゃん、母ちゃん。」と言っていました。私80歳過ぎです。38歳で亡くなった母が本当に出てきて私を助けてくれた。涙がこぼれました。親ってありがたい。38歳で死んだ母がいつまでたっても子どもを想っているのです。



(泰葉さん登場) 皆様こんにちは。ある朝、母が泣いているんですよ。夢の中に祖母が出てきて、手を差し伸べてくれたと言うのです。母の思いは強く崇高なものなのだと思います。このことで母を愛おしく思え、おばあちゃんにも愛いたくなりました。戦争という悲惨な経験をした母は、家族をととても大切にしました。父も私達を大切にしてくれて、特に弟の林家三平2代目と一緒にいられる時間が短いのを何となくからだわかっていて感じでした。二人の姿を見ると、父が背中では何かを教えているようでした。そういう平和な風景も戦争は奪ってしまいます。私は父と弟の風景、平和で幸せで愛がいっぱいある景色を歌にしました。戦争体験をした母の話からどんなに悲惨だったかということを知ったら、私たちに何ができるのか、私たちの世代に何が課せられているのかを考えるようになりました。私は音楽で平和を訴えていこうと思っています。そしてもうひとつ、平和って一人一人が手を取り合って笑顔でまあい地球を作ることだと思います。(泰葉さんの伴奏で「ふるさと」を会場全体で合唱)

(人権講演会講話内容からリーフレット用にまとめたものです)

2015年12月発行



お や ま し や く し ょ じん けん すい しん か  
小山市役所人権推進課  
☎0285-22-9292

お や ま し き ょ う い く い いん かい し ょ う が い が く し ょ う か  
小山市教育委員会生涯学習課  
☎0285-22-9663

じん けん そう だん  
人権相談

まい つき だい きん ぶつ び よやく ふ ぶ じょう ご ぜん じ ゃく じ  
毎月第2金曜日(予約不要)午前10時~午後3時  
お や ま し や く し ょ ない ば しょ じん けん すい しん か と あ  
小山市役所内(場所は人権推進課にお問い合わせください。)

ホームページ「小山人権の扉」

URL <http://www.oyama-tcg.ed.jp/~jinken/>